

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第9回川西市廃棄物減量等推進審議会	
事務局(担当課)		美化推進部 美化推進室 リサイクル推進課	
開催日時		平成24(2012)年8月28日(火) 10時～12時	
開催場所		市役所本庁舎 4階 庁議室	
出席者	委員	豊福俊英、花田真理子、河野智子、石井研二、中平香織、倉田良文、和島一吉、石橋秀作、佐藤恵美、杉岡悟、大森直之	
	その他		
	事務局	美化推進部長、美化推進室長、美化推進部参事、リサイクル推進課長、リサイクル推進課主幹、美化業務課長補佐、リサイクル推進課主査	
傍聴の可否		可	傍聴者数 2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1. 開会 2. 議事 (1)一般廃棄物処理基本計画(答申案)について (2)その他 1)今後のスケジュールについて	
会議結果		別紙 審議経過のとおり	

審議経過

会長	1.開会 時間になりましたので、ただいまより「第 9 回川西市廃棄物減量等推進審議会」を開催いたします。
会長	2.議事 (1)川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)について それでは、本日の議事内容等につきまして、事務局よりご説明をお願いします。
事務局	それでは、本日の審議会の議事項目についてご説明申し上げます。次第 2、議事(1)「川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)について」をご協議いただきたいと思います。そして、次第 3 のその他といたしまして、「今後のスケジュールについて」並びに「会議録の確認について」を行いたいと思っております。次第 2「(2)その他」と記載しておりますが、当初、その他につきましては「今後のスケジュールについて」を予定しておりましたが、会の進行上、次第 3 のほうに移行させていただきました。また、配布資料についてですが、事前にご送付いたしました「川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)」をお手元にお持ちでしょうか。本日の会議につきましては、午後 12 時ごろには終了したく考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。また、今回の議事につきましても、詳細に係る質問等の回答につきましては、前回同様、内容によりましては調査依頼社である「中外テクノス株式会社」の発言をお許しいたきますよう、よろしくお願ひいたします。以上でございます。
会長	本日は、1名ご欠席ですが、あとの方は全員ご参加いただいております。予定では本日が最後の審議会となりますので、よろしくお願ひいたします。それでは、事務局より、議事(1)「川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)について」ご説明をお願いいたします。
事務局	議事(1)の「川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)について」ですが、今回の答申案につきましては、ボリュームがありますので、前もって委員に確認していただくために事前にご送付させていただいております。事前にご確認いただいているという前提に立って、まず答申案の章立て、委員からご意見をいただき、前回審議会でご報告できませんでした収集車両等の報告、前回ご審議いただきましたスローガンについて、そして、今回、新規に付けさせていただきました用語解説についてご説明させていただきます。初めに「川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)」の章立てですが、目次をご覧いただきたいと思います。今回の川西市一般廃棄物処理基本計画は、第 1 章「総論」、第 2 章「ごみ処理の現状」、第 3 章「ごみ排出量の将来予測」、第 4 章「ごみ処理基本計画」という構成になっております。まず、1 ページから始まります第 1 章では、計画の策定の趣旨、本計画の位置づけ、計画の目標年次を、4 ページから始まります第 2 章では、組織体制をはじめ、ごみ処理の流れ、分別収集の現況、総ごみ排出量の推移、1 人一日当たりのごみ排出量の推移を示したごみ排出量の実績及びその性状、収集運搬の現況、ごみ処理・処分の現況、市民・事業所

アンケート並びに家庭系ごみ組成分析調査結果を示した現況調査、ごみの減量化・資源化に向け実施しているごみ減量化・資源化施策、それらを踏まえた問題点及び課題、36ページから始まります第3章では人口将来予測、ごみ排出量の将来推計などの予測結果をお示しております。さらに、39ページから始まります第4章では、委員の皆様大変ご苦労いただきました基本理念をはじめ、基本方針、減量目標、スローガン、排出抑制・資源化対策のケーススタディ、目標実現に向けた施策、その他、ごみ処理に関し必要な事項、また施策の実現スケジュールをお示しております。また、委員の方にお断りしておかなければいけないことですが、本来、「川西市一般廃棄物処理基本計画」はごみに関する項目と、し尿、すなわち生活排水に関する項目から構成されるものでございますが、当審議会におきましては、ごみに関する部分を対象に審議いただいていた経緯から、生活排水に係る内容を省いた答申をいただきたいと考えております。答申を受けた後に市が計画を策定する際、生活排水処理に関する項目も含めた内容でまとめたいと考えておりますので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。基本計画の章立てにつきましては以上でございますが、計画書の後ろのほうに資料編と用語解説を付けさせていただいております。続きまして、前回審議会において委員からいただきましたご意見に対し、報告ができておりませんでした項目をご報告させていただきたいと思っております。9ページをお開きください。「収集運搬の現況」の文中、下から2段目のパッカー車等車両台数でございますが、記載のとおり、2tパッカー車36台、2tトラック27台、軽四ダンプ5台でございます。次に、43ページをお開きください。前回ご審議いただきましたスローガンについてでございますが、懸垂幕のぼりに「マイナス」という表示を吹き出しにしてはとのご意見をいただきまして、スローガンを「始めよう！ ごみの減量 私から1人1日“マイナス”100g」と、そして、43ページ下段のとおり、スローガンのデザイン図案を2つ作成いたしましたので、ご確認いただき、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、のぼり、懸垂幕の吹き出しイメージを仮作成いたしましたのでご協議をよろしくお願いいたします。続きまして、資料の34・35ページをお開きください。今回、「川西市一般廃棄物処理基本計画」をより理解していただきますよう、用語解説を作成し、付けさせていただいております。説明は以上でございます。

会長 のぼりは見せていただけるのですか。

事務局 はい。懸垂幕はここに持ってくるわけにはいきませんので、写真を撮っております。

会長 今の「マイナス」というのがどのようになっているか、皆さんに見ていただいたほうがいいと思いますので。

のぼりの掲示準備

会長 これは、資料の3枚目の緑色のものです。2枚目と3枚目は一緒ですね。こちらは2枚目になりますが、向こうが左側で、こちらが右側の写真です。

事務局 一応このような形で「マイナス」をこちらとこちらのほうに入れさせていただきました。吹き出し

	<p>のようにはできませんでしたが、これでしたらこちらにも利用できるかと思います。ただ、この色合いの部分につきましては、若干検討させていただきましたが、あまり突拍子もない色ではなく、このぐらいのほうが良いということでお示しております。この色を変えたほうが良いとか、何かご意見があるかもしれませんが、できましたらこれで利用していきたいと思っております。大きい懸垂幕を持ってくるわけにはいきませんので、お配りした資料の中の懸垂幕には「マイナス」を吹き出しの形で入れさせていただいております。こういう形であれば懸垂幕を生かした形で利用できると考えて作成いたしました。ご検討をよろしくお願ひしたいと思います。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。それでは、各委員の皆様、今回はどれと絞りませんので、答申案の中でご意見・ご質問、あるいは表現について、何かありましたらお願ひいたします。</p>
委員	<p>二つありまして、一つは黄色の「マイナス」のことですが、白いで全然目立たないです。</p>
会長	<p>白の「マイナス」の字ですね。</p>
委員	<p>はい。字が見にくいので、コントラストをつけていただけたらと思います。</p>
会長	<p>この写真でも「マイナス」というのが見えにくいですね。</p>
委員	<p>もう一つは、32 ページの一番下に「ごみ 1t 当たりに対する中間処理に要する費用」と書いてありますが、このごみは、集団回収も含めた総ごみ量なのか、持ち込まれた収集ごみなのか、はっきり書いていただいたほうがわかるかと思います。</p>
会長	<p>はい。1 点目は「マイナス」という文字の色ですが、確かに白では見えにくいので直したほうが良いと思いますが、何色がよろしいですか。黒ですか。</p>
副会長	<p>赤ではきつすぎますか。</p>
会長	<p>下地が緑ですから赤ではきついと思いますね。この黄色に対してですから、黄色自体も何色にするか。</p>
委員	<p>あわせてみないとわからないのですが、ちょっと差をつける、コントラストをつけていただきたいです。白抜きではなくて、少し黒めが良いと思います。</p>
会長	<p>これは白で水色ですからそれなりの色でいいかもしれないですが、こちらは、黄色に対して白では見えにくい。この写真自体が見えにくいです。</p>
副会長	<p>紺などもいいと思います。</p>

委員	紺でもいいですね。
会長	何か用意してあるのですか。
事務局	とりあえずこういう形で見本を用意しています。(赤色に白抜きを提示)
会長	それでは緑に対してあんまり良くないですね。
事務局	逆にこういうものを。(白色に赤色の文字を提示)
会長	白と白は。字の色だけを変えればいいと思います。
事務局	字の色ですか？
委員	白枠の中に違う色を、ですよ。
会長	そうです。向こう側のはいいかもしれませんが、下地が緑色ですから。
委員	そうですね。
事務局	何色がパッとしますかね。
副会長	紺色あたりですかね。
会長	その右側ののぼりの青の字ぐらいです。
事務局	これですか。
会長	そのぐらいです。どうですか。
委員	当ててみないとわからないです。
会長	黄色自体も写真写りによってずいぶん違いますね。
事務局	そうですね。
委員	ポールがブルーですから、そういう意味で黒ですね。
会長	そうですね。

事務局	そうしましたら、中の「マイナス」は白色ののぼりと同じ少し濃い紺色でよろしいですか。
会長	皆さん、よろしいでしょうか。
	<「はい」との声あり> (別紙写真参照)
事務局	今日が最終ですので、黄色と青はバランス的にも合いますので、「マイナス」の文字は紺色にしたいと思います。
会長	もう1点、32 ページの下から2行目、小さい字のほうです。ここで言うごみはなんのごみですかという話ですが、どのごみか説明していただけますか。
事務局	ここで言うごみは、集団回収分を含まないごみになります。
委員	わかるように書いていただけたら迷わなくて済みます。
事務局	わかりました。その辺は注釈として記載させていただきます。
会長	ほかにご意見はございませんか。
事務局	先ほどの懸垂幕はこれでいいですか。
会長	1枚目の白の大きいものですね。「マイナス」というのを青で書いてある、この分です。
事務局	先ほど色合いだけが残っていたと思いますが、ブルーでよろしいですか。
会長	よろしいですか。ここでは写真ですが。
委員	キャラクターはどういう意味ですか。
会長	このキャラクターですか。
委員	そうです。
会長	43 ページの二つのバージョンの「ぷっくりごみくん」の方です。ぷっくりごみくんと何かもう一つありましたね。
副会長	エコちゃんですね。
委員	そうですか、知らなかったです。どこで使っているのですか。ずっと使っているのですか。

事務局	古紙類を集団回収する登録団体がございまして、回収した古紙の量に応じて登録団体に再生トイレットペーパーをお渡ししているのですが、それを「エコちゃんロール」と命名し、このキャラクターを活用しております。
委員	わかりました。
会長	「再生資源集団回収」と資料 34 ページに書いてありますが、答申案には「集団回収」と書いてある所と「再生資源集団回収」と書いている所がありますが、使い分けているのですか。用語的には再生資源集団回収のほうが正しいのですか。
事務局	「再生資源集団回収」が正式ですが、文中ではそれを短くした状態で書いております。統一したほうがいいですか。
会長	この文言はこういう言い方をします、という説明をしていただければそれでいいと思うのです。
事務局	そうしましたら、再生資源集団回収を「集団回収」という形で記載していることをどこかに入れることで、修正したいと思います。
副会長	それと、どこか1箇所「再生資源集団回収」と書いてあるようですから、それをチェックしていただいて「集団回収」にしていいただければ統一すると思います。
事務局	そうですね。ありがとうございます。
委員	よろしいですか。
会長	どうぞ。
委員	55 ページに「8)ごみ袋の透明・半透明化の調査研究」というのがありますが、この8月21日に猪名川上流広域ごみ処理施設組合の議会でプラスチック製容器包装を回収する袋の形態を透明あるいは半透明にしていくべきではないかという議論がございました。猪名川上流広域ごみ処理施設組合としましても、分別回収をする中で、あるいは市民の方が分別排出される形態としてごみ袋の透明・半透明化というのは今後必要になってくるのではないかと考えておりますので、「調査研究」だけでは少し弱いかと思います。できましたら、「調査研究及び導入の検討」といったように、導入をめざすということを打ち出していただければと考えております。
会長	これについて、事務局のほうで何かありますか。

事務局	これにつきましては、以前の状態の部分でご審議いただいて、このような回答をいただいて今、挙げている状況ですが、委員がおっしゃられたように状況が変わっておりますので、事務局では今後はそのような形を考えていかなければいけないと思っております。あと、表現の仕方を今ご提案いただいたのですが、その部分につきましては、委員さん方でご審議いただいて、それを受けて計画書に記載させていただくという形をとりたいと思っておりますので、申し訳ないですが、ご協議のほど、よろしくお願いいたします。
会長	審議会としては、今の委員の意見を受けて、「調査研究」から導入に向けて、という方向で案として出すという話ですが、市としてはまだ導入の検討まではいっていないということですね。それで、審議会を進めていく、というように決めていただきたいということですね。
事務局	最初に会長がおっしゃったように、本日が最終の審議会の予定になっておりまして、この場で「調査研究」だけでは弱いので「及び導入の検討」というのを入れるという結論をいただければ、いつかはやらなければいけないという認識は持っておりますので、委員の皆さんで決めていただければ答申案に入れることはやぶさかではございません。
会長	そういうことで、55ページの「8)ごみ袋の透明・半透明化」に対して、一步進めて「導入」あるいは「導入の検討」というご提案です。今日が最後で先延ばしはありませんので、ご意見をいただきたいと思えます。ただ、文言も「調査研究を進めます」ということから「導入への検討を進めます」というような形に変えていただければいいと思えます。そういう形で調査研究の段階から1ステップ上げるという答申を出すことに對して、ご意見がありましたら、よろしくお願ひします。
委員	調査研究は必要だと思えますので、「調査研究及び導入の検討」としてはどうでしょうか。
会長	「調査研究及び導入の検討」ですか。
委員	はい。ステップを踏んでやっていこうという方向性を示していただければよろしいかと思えます。
会長	わかりました。今のご提案は、「調査研究」の所まではそのまま、これに「及び導入の検討」を足すということですね。
委員	はい。
委員	ごみ袋が透明になることで減量化されるのですか。具体的に何かあるのですか。
委員	具体的な数値というところまではまだ把握しておりませんが、少なくとも、中間処理施設へ搬入されるプラスチック製容器包装の不純物の割合、極端な場合、缶、瓶、乾電池、ライター、髭剃りの刃、そういったものが現に入ってきておりますので、そういう不純物の率が少

	なくなる、間違いなくその方向へ向いていきます。
委員	わかりました。
副会長	減量はなかなか難しいと思いますが、きっちりと分けられるようになることは確かだと思います。例えば駅のごみ箱などでも、中が見えるようになっているのが多いと思いますが、あのようの中が見えるとしっかり分別が進むということはあるようです。ですから、ここの施策方針3「再生利用の推進と循環の環の形成」ということに大変マッチした施策かと思います。施策を「ごみ袋透明・半透明化の調査研究及び導入の検討」としましたので、文章の方にも同じような説明を入れたいと思います。
会長	最後の「調査研究を進めます」というところですね。
副会長	そうです。「情報収集を行い、導入の検討につなげます」あるいは「導入の検討に向けた調査研究を進めます」とか、本文にも「導入の検討」を入れておいたほうが良いと思います。
会長	おっしゃるとおり、タイトルを変えましたので、本文のその部分を直していただくということですね。ほかによろしいですか。はい、どうぞ。
委員	資料の用語解説ですが、例えば資料 35 に「特別管理一般廃棄物」の説明がありますが、説明が難しくても全然わからないのです。どのようなものが具体的に示すなど、もう少しわかりやすくなりませんか。ほかにも「灰溶融」は「急速に冷やしてガラス状のスラグにすることです」とありますが、ガラス状のスラグというのがどういうものかわからないので、もう少しわかりやすく書いていただくほうが親切かと思います。
会長	審議にかかっていない特別な用語もありますので、その辺を少しお願いします。
事務局	ご指摘いただいた部分については、もう少し平易な言葉でわかりやすい内容に改めさせていただきます。
事務局	先ほどの 55 ページも含めて、文意は変えずに意味をわかりやすく、タイトルに合わせたように変えさせていただきますと思いますが、会長、副会長へ一任ということで、会長、副会長、事務局で調整させていただくということでご了承いただければと思います。よろしくお願いいたします。
会長	では、そういうことですので、皆さんのほうでわかりにくい用語がありましたら言っていただきたいと思います。今、言われたのは、一般廃棄物に「特別管理」というのが付いているということ、それから、灰溶融というのは、ごみを 1300～1400 で溶融スラグ化すると 20 分の 1 ぐらいに減量化ができるということで、処理場ではごみを灰にして出しているわけではなく溶融スラグ化してさらに減量化していますよ、という意味でここは書いてあると思うのです。皆

	さんは、国崎を見に行ったときに溶融スラグを見せていただいたかと思います。
会長	はい、どうぞ。
委員	資料 35 の、総ごみ排出量の後に雪みたいな印がありますけれども、5ページのように×(掛ける)の記号を書いたほうがわかりやすいと思います。
会長	どれですか。
委員	これはグラムに直すための×の意味だと思うのですが、雪みたいな印(アスタリスク)だとよくわからないので、×のほうがいいのではないですか。
会長	記号ですね。いろいろな所にアスタリスクというか印というか。
委員	5ページは×になっています。
会長	数式を書くとき、全体を通して+ - × ÷の記号で書いてくださいというご意見です。
副会長	そのほうがいいと思います。いまのままですと分母の中にまた割り算が入っている感じがしますので間違え恐れがあると思います。5ページの表記のほうがわかりやすいと思います。
会長	今、5ページという話がありましたけれども、いろいろな所で÷が/になっていたり、×が*になっていたりしますので、その部分を表2の4-1にあるような+ - × ÷と直してくださいということです。特に資料のほうですね。ほかにございませんか。最初に事務局から説明がありましたように、答申案の2ページの一番下にピンク色の枠がありますが、ごみ処理基本計画、生活排水処理基本計画をあわせて一般廃棄物処理基本計画になっておりますので、審議会からの答申案としては出ませんが、市の基本計画の中にはその部分が入るということです。今は4章までですが、その分を計画として入れていく予定になっております。よろしいでしょうか。42・43ページが皆さんで議論した最終的な結論かと思いますが、特に43ページのスローガンを書いたシール、ワッペンバージョンについて、また、エコちゃん、ぶっくろみくん、きんたくんというキャラクター出てきましたけど、それを含めてでも結構です。42ページの1点目に書いてありましたが、「総ごみ量1人1日当たり…」の「当たり」という字はこれでいいのですか。平仮名でいいのではないですか。
事務局	他の県などでは、両方ありますが、漢字の所が多いものですから、漢字で統一させていただきました。
会長	そうですか。
事務局	もし皆さんが平仮名のほうがいいというご意見でしたら、修正することは可能でございます。

会長	はい、ご発言をどうぞ。
委員	62 ページ、施策の実現スケジュールということで、3の(1)の一番下に「ごみ袋の透明・半透明化の調査研究」とありますが、これにも導入のことを付け加えていただいたほうがいいと思います。
会長	62 ページの3の(1)の一番下、「ごみ袋の透明・半透明化の調査研究」の所に先ほどの「及び導入の検討」を足すという話です。
副会長	ここに「プロジェクト設置等」とありますが、具体的に何か動くのでしょうか。
会長	62 ページのごみ袋の透明・半透明化に対してプロジェクト設置等とありますが、これは何ですかということですか。
事務局	ごみの有料化やごみ袋の透明化について調査研究を進めるという部分ですが、調査研究を進めるにしても導入にあたって一歩踏み込んで検討を進めていくにしても、これまでのように担当が1人で本を読んだり他市の状況を調べたりという状況では前に進まないだろうということで、例えば部の中で収集担当と組んで一緒に研究していくといったことを想定して、プロジェクトの設置ということを挙げさせていただいております。
副会長	先ほど猪名川上流広域ごみ処理施設組合でもそういう話が出たということでしたが、もしそのプロジェクトを進めていくとしたら、ご一緒におやりになったほうが進むという感じがいたします。
会長	今の件ですが、そういう検討の会には川西市は入っていないのですか。
委員	議会という意味ですか。
会長	議会なんですか。
委員	はい。議会の中に川西市の部長は…
会長	入っていますよね。
委員	中には入っておられますが、議会での議論を聴いていただくという立場で入っていただいております。
会長	そうですか。ほかによろしいでしょうか。

副会長	最後ですのでお聞きしたいのですが、43 ページにいろいろなキャラクターが出ています。エコちゃん、ぷっくりごみくん、スリムちゃんは存じあげておりますが、この恐ろしいのと、にこやかな天使のおばあさまはどういう方が教えていただけますでしょうか。
事務局	ありがとうございます。天使の環を付けているキャラクターはクリンちゃんといいます。その下の怖い顔をしているのがぷっくりモンスターといいます。こちらのキャラクターでございますが、59 ページの下に子ども向けのごみ学習会の様子を写した写真があると思います。職員が紙芝居で親子に説明をしているのですが、その紙芝居にぷっくりモンスター、スリムちゃん、ぷっくりごみくんといったキャラクターを登場させておまして、子どもに親しみやすく馴染み深いものとなるよう、ほかにもワークブックとか啓発用のミニタオルにキャラクターを活用しております。
副会長	わかりました。クリンちゃんのこの輪はひよっとすると循環の輪ですか。芸が細かいですね。
会長	最初に言いましたように、議事は1件ですし、今日が最後ですので、どのようなことでも、希望だけでもかまいませんので、皆さんからひと言ずつお願いします。
委員	51 ページの「基本施策 発生抑制の推進について」、この中に「大型ごみの有料制の導入を推進し」と書いてありますが、私は抽象論ではないかと思っています。現在は無料ですので、有料になるということには市民の関心は非常に高いわけですが、議会などとの関係もありますが、いつ頃に有料制になるのかということをご答申の中に盛り込めないでしょうか。
事務局	今、ご意見をいただいたわけですか、有料化となりますと議会等の説明も必要になりますので、ここは方向性ということで示していただいて、その答申を受けて市のほうで今後考えていきたいと思っておりますので、この中に時期を入れることはご容赦いただきたいと思っております。
委員	これでは確実に推し進めるということが無く、また、以前は検討課題であったということですから非常に弱いのです。ごみの問題というのは市民の関心が非常に高いので、計画の目標年度が 25～34 年度となっておりますが、大型ごみの有料化について、この間に推進というのがどうなるかを克明に知らせたほうがより親切ではないかと思っております。
事務局	この審議会でも有料化の検討をしていただいたわけですが、やはりいろいろな考え方の中で減量が大幅に進めば、議会に提案しまして有料化にする必要があるかないかを検討していくわけですが、ここでは方向性だけを示して、あとは市の議会等の審議の中で決めるということでございます。答申で期日などを明言することは避けたほうがいいのではないかと思います。ただ、以前のように抽象的な表現ではなく、一歩進んでそういうこともしていくというような答申をいただいた場合に、市としてはどうしていくのかということをご審議いただくことになると思っております。
会長	あくまでもこの審議会はこういうことをもっと進めてくださいという皆さんのご意見だけで、具

	<p>体的な日程を詰めているわけではありませんので、ここにはそれがわかるような、調査研究から一歩進めた文言になっております。おっしゃるように住んでいる人にとってはいつそうなるかというのは一番大事なことです、それを進めてくださいという意味での推進です。</p>
委員	<p>ちょっと納得できないです。非常に弱いですよ。いくら答申案であっても強力に進めるようにしなければならないと思います。それに、去年、今年とごみが非常に減ってきていると、そうならば議会としても有料制に対して反対を表明しますよね。そういう点を部としてどのように釈明されるのかということです。お答えは結構です。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p>
委員	<p>ありません。</p>
会長	<p>何かありますか。</p>
委員	<p>特にございません。</p>
会長	<p>よろしいですか</p>
委員	<p>結構です。</p>
会長	<p>どうぞ。</p>
委員	<p>中身を読ませていただきまして、すばらしい答申案ができたと思っております。8回の審議でこういう案になるとは思っていませんでした。どうもありがとうございました。答申案ではないですが、7月25日号の『森の泉』を見せていただきましたところ、川西市からのお知らせに生ごみ処理機等購入の助成金のことが出ておりました。この辺では家庭菜園などはあまりしておりませんが、北のほうに行きますと家庭菜園、庭等でいろいろ栽培していることを聞いております。こういう助成金等々、生ごみ処理機を買うことにしても、もう少しPRをしていただきまして一軒でも多く購入していただくと生ごみも減るのではないかと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>会長、すいません。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
事務局	<p>生ごみ処理機の関係ですが、矢問のほうに市民農園がございます。この前、その事務局に私どもで作っているチラシみたいなものを置かせていただいたり、JAさんなどにも配布して置いていただくようお願いしたり、そういう形での取り組みをしております。</p>

会長	よろしいですか。
委員	<p>市民に啓発していかないと本当に減量化は難しいということがわかりました。この審議会を通じていろいろ勉強させていただき、家庭ごみの問題は本当に一人一人が考えないといけないということがわかりました。我が家には小学校4年生の娘がいて、やはり学校で学習してきています。この答申案にありますように、「子どもや若い世代に向けた啓発」ということですが、特に小学校4年生が、国崎のクリーンセンターに見学に行ったときの話を聞きましたら、感想文を書くということで自分なりの研究みたいなこともしたようです。もう一つは、国崎クリーンセンターに行く前でしたが、ごみ学習の授業で各班に分かれて研究して参観日に発表するという機会がありまして、ある班ではクイズ形式にしてみんなに答えてもらうとか、子どもたちがすごく工夫していました。また、教育ということを先生方もよく考えていらっしゃるって、親子で川西市のごみがどうなるかということをしごく学んだ1時間でした。これからも、4年生だけではなくみんなに考えなくてはいけないことを学習する機会を子どもたちにたくさん与えてほしいと思いました。以上です。</p>
会長	ありがとうございます。お願いします。
委員	<p>51ページの「生ごみの減量化の促進」ということで、具体的にこういうことをやっていきましょうという記述がありますが、このとおりだと思っています。生ごみはできるだけ出さないように、適度な量、食べきれぬ量を買うようにしなければいけないですし、調理をする中で、できるだけごみを濡らさない、どうしても濡れてしまった場合にはできるだけ水気を取る。ここでは三角コーナーに溜まった生ごみの「水切り」と書いてありますが、水を大量に処理するのは本当にもったいない話ですので、もったいないことをできるだけ少なくしていただくために「水を絞る」というひと手間かけていただきたい、そういう啓発をしていかないといけないと思っております。以上です。</p>
会長	どうもありがとうございました。お願いします。
委員	<p>62ページの「将来の実現スケジュール」ですが「重点」と「強化」というのがあります。本文を見ますと重点の部分は書いてあり、その表現から重点的に取り組むことが読み取れるかと思いますが、「強化」と書いてあるのは何をどう強化するのかわからないのです。何か意味があるのでしょうか。</p>
会長	この分類にあります、黄色の強化、赤で書いてある重点、白字の継続、この3つをどう分けるのかということですが、
事務局	<p>62 ページのスケジュールの所では、重点、強化、継続という形で強弱をつけさせていただいております。強化とさせていただいた施策ですが、アンケートと組成分析からみえる課題と、その対応策に出てきたものについては強化策にさせていただいております。それと、委</p>

	<p>員の皆様から毎回いただいたご意見を事務局でまとめさせていただきお配りしているかと思いますが、委員の皆様からいただいたご意見については強化施策とさせていただきます。重点施策につきましては、本文で挙げています2項目に係る具体的な施策でございます。</p>
委員	<p>言っていることはわかりますが、答申案には説明があるほうが親切かと思います。例えば強化なら、いろいろな啓発がある中で特にこの部分には力を入れましょうということだと思いますが、今、委員が生ごみ処理機の話がされましたけれども、施策方針2の発生抑制の生ごみの減量化の促進で、なぜ生ごみの堆肥化だけが継続になっているのかと思いましたので。力を入れるということをどこかに表示されたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>今のは 62 ページの表ですが、61 ページの8「本計画で実施する各施策ごとの分類とスケジュールを表で示します」というだけではなく、もう少し入れてくださいという話です。</p>
事務局	<p>61 ページの「施策の実現スケジュール」の文章の説明を丁寧にする形にして、重点・強化・継続施策が明確にわかるようにさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>どうぞ。</p>
委員	<p>重点、強化、継続についてですが、今の時点では、例えば大型ごみの有料化が継続になっていますが、途中から強化あるいは重点に変化することも考えられると思うのです。半透明のごみ袋についてもそうですが、これは長期的に固定したのではなく、変動していくものと理解してよろしいのでしょうか。</p>
会長	<p>おっしゃっているのは、62 ページの一番右側に短期、中期、長期とありますが、矢印を分けてないのですが、変わるものがあるのではないですかという話です。</p>
事務局	<p>おっしゃるようにこのスケジュールはこの施策は2年でしましよ、この施策は5年目から始めまじよということを示しておりません。といいますのも、2 ページの所に基本計画の位置づけを書いてありますが、この基本計画(答申案)は、長期的な 10 年間の方向性を示すものでございます。各年度の計画については、その下の一般廃棄物処理実施計画という形で、予算的なことも含めて各年度でスケジュールを立てていくことになっておりますので、その中で重点にする施策が変わってくることもあろうかと思ひます。</p>
会長	<p>その意味合ひで言ひますと、62 ページの短期、中期、長期というのは何を指すのですか。</p>
事務局	<p>実際にこの施策のスケジュールを考へていくときに、例へば中期以降しかできないものがある場合は…</p>
会長	<p>いやいや、矢印が全部に付ひているので言ひているだけです。そうしますと、短期、中期、</p>

	長期というのは無くてもいいのではないですかと言っているのです。
事務局	おっしゃるように、結果としては短期、中期、長期に分ける必要性はないかと思います。
会長	委員がいま言われたように、例えば今からやって5年ぐらいで終わるというものもあるのかもしれないけれども、それは短期になるのかもしれないですが、そういう分け方をする必要があるのであるかどうか。あるいは分けるとすると、一つは10年というスパンで考えていますよね。3年ぐらいだと、10年というスパンで考えると短期という感覚で言っているのかもしれないですが。
事務局	実際には、3年やったからもうこの施策は必要ないという施策は、具体的に施策が挙がってきて整理した時に無かったというのが実情でもございます。
会長	ですから、もうこれはいらないのではないですか。10年間やるということでもいいのではないですかということです。
事務局	それでは、この表につきましては、スケジュールの区分けは無い形にして、ただ、大型ごみの有料化、ごみ袋、大型ごみ以外の有料化の部分については、少し具体的に記載しておりますので、10年間の計画の中でこれを行っていく、という記載をさせていただくということによろしいでしょうか。
会長	ですから時期的に、今すぐに着手するもの、あるいは従前からのもので継続にやる、そういう表現だけでいいのではないですか。
事務局	はい。そのように修正させていただきます。
会長	よろしいですか。
委員	私が言いたいことは、継続と書いてあるのが10年間継続するというランクであっては困るということです。「大型ごみの有料制の導入の推進」というのが継続になっていますが、10年間のある時からこれが強化になったり重点になったりすることは必要だと思っております。ですから、今の時点でのこれにとらわれないでやっていただきたいということです。
会長	よろしいですか。
会長	はい、どうぞ。
事務局	いま挙げている施策は、現在やっている施策、今やらなければいけない施策であり、今やっている施策を継続してやる、重点してやる、強化してやるというように分類しているものでございます。委員がおっしゃったように、継続してやっている中で将来的にもっと強化しなけれ

	<p>ばならないというも出てくると思いますし、大型ごみの有料化につきましては、一定期間研究したり、議会との調整をしたり、皆様方の意見をお聞きした上で、強化していく、重点的にやっていくという部分が出てくるのは確かだと思っております。現時点での分類という形で示したものでございますので、ご理解いただきますよう、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>どうぞ。</p>
<p>副会長</p>	<p>今回の基本計画の期間が平成 25～34 年の 10 年間ということで、この時期は社会的に大きく変わっていくことが今から想定できる期間かと思えます。例えばごみのことだけを捉えても、フェニックスのことがございます。フェニックスは一般廃棄物の受入れ枠から産業廃棄物の方に面積を少し振り替えて受入れ期間を延伸するということがありましたが、ゆくゆくはフェニックスも満杯になるでしょうし、市民の意識がここ数年でかなり変わりました。この 10 年でまた大きく変わっていく可能性があります。それから、川西市だけでやっても結局ごみが逃げていくというような懸念があるというご指摘がありましたが、この点で言えば、周りの市がそういう制度をどんどん取り入れていく可能性もあるわけです。この 10 年を考えたときに、いろいろなことが大きく変わる可能性がありますので、1 年ごとの実施計画を見直す時に基本計画の方も見直す必要があると思っております。先程の事務局からの委員の意見へのお答えの中で、例えば継続が強化になり重点になりということは、柔軟にやっていかなければならないと思っておりますということをお聴きましたので、今年度の実績はこうでしたから、次の年度はこうやしましょうというだけではなく、大きな方針についても毎年見直す必要があると感じています。今のご指摘はたぶんそれで解決するのではないかと思います。例えばこの施策に関しては、ただ継続していくのではなく、強化をする、あるいは重点に置いていくというようなことを毎年、市民も含めてチェックしていけばいいのではないかと思います。マイナス 100g ということで目標が高いわけです。特に、100g のごみを資源化してもそれはマイナスにカウントされないということがあります。それでは減量化するために何があるかと考えた時に、生ごみのポテンシャルはものすごく高いと思います。といいますのは、生ごみは重いのです。濡れているから重いので、濡れているものを乾かすとかなり重さが減ります。他市で「一絞り運動」というのをやっている所もありますし、生ごみを別のものに転用できれば生ごみが丸ごと減ります。生ごみを積極的に活用して減らしていくことを真剣に考えたほうがいいと思います。それから啓発のことですが、まず、ごみを減らしたいと思っている人はたくさんいらっしゃると思いますし、ごみを減らすやり方はいろいろあると思いますので、減らす方法を示すことが大切です。次に、市民の皆さんがこうしたらごみがこれだけ減りましたと結果を見せることもすごく大切だと思います。夏の節電も呼び掛けられなくても市民の方は目標を上回るほど減らしているということです。しかも、原発を稼働させてなおこれだけ減っているわけですから、そういう意味では「これだけ減らせた」とわかってますます元気づくと思うのです。ごみも同じで、こういうことをやったらこれだけ減ったということを示すことの効果は大きいと思いますし、取り組みの結果が何らかの形で市民に還元されるとさらにいいと思います。啓発の 3 つ目のポイントとして、市民の意識、ごみだけでなく、市民は街をつくっていく</p>

	<p>一人だという意識を高めることと、市や、事業者、市民グループ、PTAなど、いろいろな人が協働で進めていくことがすごく大切だということを皆さんにわかっていただくと、ごみ減量100gも夢ではないと思います。啓発がすごく大切だというご指摘がありました。本当にそう思います。ですから、ポテンシャルとしては生ごみ、方法としては啓発を積極的に進められることを期待したいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>3.その他</p>
会長	<p>(1)今後のスケジュールについて</p> <p>それでは、次第3その他の「(1)今後のスケジュールについて」「(2)会議録の確認について」を諮らせていただきます。事務局より、ご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(1)の「今後のスケジュールについて」を説明させていただきます。前回の審議会におきましてもご報告いたしましたが、今回の第9回審議会におきまして、「川西市一般廃棄物処理基本計画(答申案)」をこの場ではご了承いただき、委員の皆様からいただいたご意見につきましては、今後、会長・副会長を交えて議論を行い、最終的に答申とさせていただきます。答申いただきました「川西市一般廃棄物処理基本計画」の策定分を、9月25日に会長・副会長から市長に答申していただきます。審議会委員の皆様は今回にて終了となりますが、市ではその後、パブリック・コメントを実施して広く市民のご意見を聴取させていただき、市民の意見を反映した計画の策定を行います。各委員の方には、来年3月に再度審議会を開催させていただき、「川西市一般廃棄物処理基本計画」をご報告させていただく予定にしております。なお、3月の審議会の日程につきましては、開催時期が近づきましたら事務局より調整をさせていただきます。今後のスケジュールにつきましては以上のとおりでございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。パブリック・コメントを含めて来年の3月に最終的な審議会という予定でございます。</p>
会長	<p>(2)会議録の確認について</p> <p>次第3(2)の会議録確認ですが、今回の会議録署名人につきましては、名簿順にお願いしておりますので、倉田委員と石橋委員にお願いしたいと思いますが、お二人の方、よろしいでしょうか。</p>
会長	<p>4.閉会</p> <p>どうもありがとうございました。それでは本日の会議はこれで終了とさせていただきます。委員の皆様本日はありがとうございました。</p> <p>(以上)</p>

川西市廃棄物減量等推進審議会会議公開運用要綱第7条の規定によりここに承認する

平成24年9月19日

川西市廃棄物減量等推進審議会

会議録署名委員

倉 田 良 文

石 橋 秀 作